

# LIXIL Gスクリーン

## サニブリーズ取付け用枠

## 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味


**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号


**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

**※**

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

### <施工の前に>


**警告**

- フェンスは隣地との境界を示す目的で設置するものです。転落防止を目的にした防護柵や、歩行補助を目的にした手すりとして使用する場合には事故につながるおそれがあります。


**注意**

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。


**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

## 取付説明書区分表

施工区分	使用する取付説明書	取説コード	施工区分	使用する取付説明書	取説コード
柱、フレーム	Gフレーム	E248	汎用形材	Gスクリーン フリースクリーン枠	C383
躯体取付けフレーム			サニーブリーズフェンス	Gスクリーン サニーブリーズ取付け用枠	C382
デザイン格子			G吊引戸	G吊引戸	B073
デザイン格子埋込み施工補助部材			Gルーフ テラスタイプ	Gルーフ テラスタイプ	E249
パーゴラ			Gルーフ フリータイプ	Gルーフ フリータイプ	E258
150角柱・150角フレーム			Gルーフ テラスタイプ天井材	Gルーフ 天井材テラスタイプ	E259
パーゴラ 30×150			Gルーフ フリータイプ天井材	Gルーフ 天井材フリータイプ	E257
デザイン格子 30×150			Gルーフ フリータイプボード天井材	Gルーフ フリータイプ ボード天井材	EXM018
デザイン格子外付け仕様			Gルーフ カールフタイプ	Gルーフ カールフタイプ	E399
壁上柱部材			Gルーフ カールフタイプ天井材	Gルーフ 天井材カールフタイプ	E400
デザインフレーム			Gフレーム デザインフレーム	E313	Gルーフ デザイン樋
ファンクション柱	Gフレーム ファンクション柱	A451	キャノピー	Gフレーム キャノピー	E250
パーゴラフレーム上乗せ部材	Gフレーム パーゴラフレーム上乗せ部材	E292	LEDダウンライト	LEDダウンライト	Z536
フレームサイドカバー	Gフレーム フレームサイドカバー	E293	ゲートフレーム	Gフレーム ゲートフレーム	E300
Gウォール	Gウォール	EXM017	コンセント柱	Gフレーム コンセント柱	E301
フリーウォール	Gスクリーン フリーウォール	C445	スライドルーバー	Gスクリーン スライドルーバー	C432
角格子スクリーン	Gスクリーン 角格子タイプ	C366	ルーバースクリーン	Gスクリーン ルーバータイプ	C433
横格子スクリーン	Gスクリーン 横格子タイプ	C367	ガーデンストレージ	ガーデンストレージ-G2	E331
縦/外付け/横付け格子タイプ	縦/外付け/横付け格子タイプ	EXM015	フレーム意匠部材	フレーム意匠部材	EXM012
横スリットスクリーン	Gスクリーン 横スリットタイプ	C409	ライン照明	ライン照明	EXM013
細縦格子	Gスクリーン 細縦格子タイプ	A492	ワイドフレーム	ワイドフレーム	EXM014
GBウォール	Gスクリーン GBウォール	C385	ガラス引戸	ガラス引戸	EXM016

## <施工上のご注意>

### 注意



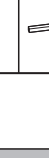
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

### ポイント




- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
  - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
  - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
  - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 給湯機や暖房機等の熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

## ■ 梱包明細表


### 【1】 サニーブリーズフェンス用縦枠セット

名 称	略 図	員 数				
		T-8	T-10	T-12	T-16	T-18
サニーブリーズフェンス取付枠		2	2	2	2	2
下ブラケット		2	2	2	2	2
多段クッション材		-	-	-	1	1

### 【1】 サニーブリーズフェンス用縦枠セット(つづき)

名 称	略 図	員 数				
		T-8	T-10	T-12	T-16	T-18
フェンス注意シール		1	1	1	1	1
サニーブリーズ枠 端部キャップ		4	4	4	4	4
【1-1】 φ4×19ナベ ドリルネジ		10	10	10	14	14
取扱説明書〈UC019〉	-	1	1	1	1	1
取付説明書〈C382〉	-	1	1	1	1	1

### 【2】 フェンス本体セット

名 称	略 図	員 数
フェンス本体		1

## 1. 基本寸法図 ※( )内は150角柱を使用した場合の寸法を示します。

### 1-1 1段仕様の場合

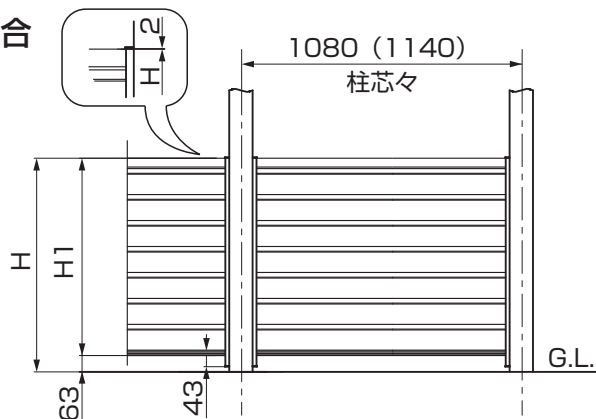


表1-1

サイズ	H	H1
T-8	800	737
T-10	1000	937
T-12	1200	1137

### 1-2 2段仕様の場合

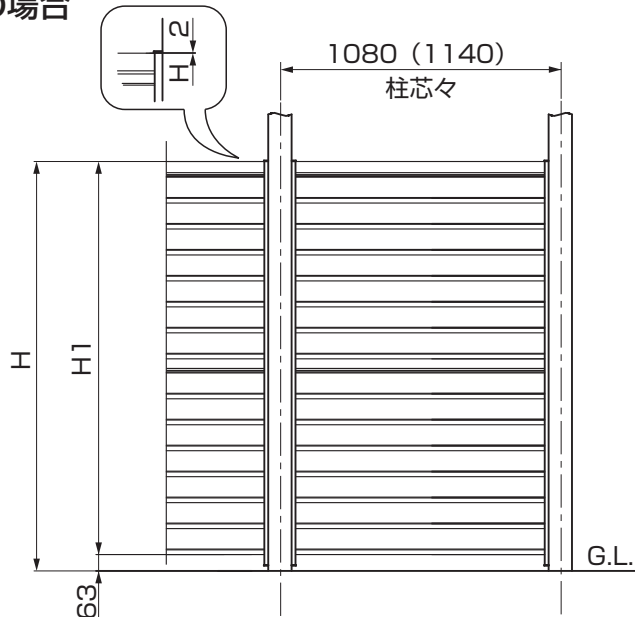


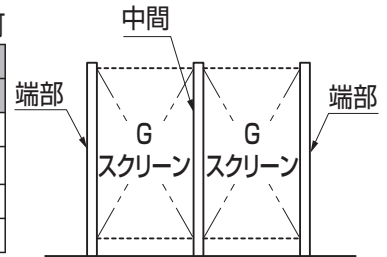
表1-2

サイズ	H	H1
T-16	1554	1491
T-18	1754	1691

## 2. 柱の確認

表2-1 ○…使用可能 ●…補強材・躯体付けが必要 △…制限有り(※1) ×…不可

		90角柱			150角柱		サブ柱		ファンクション柱	
		H24	H29	H35	H24	H29	H23	H24	H29	H24
T8、T10、 T12	端部	○	○	○	○	○	○	○	○	△(※1)
	中間	○	○	○	○	○	○	○	○	×
T16、T18	端部	○	○	○	○	○	○	○	○	△(※1)
	中間	○	●	○	○	○	○	○	○	×



### ポイント

- 上記 表2-1にしたがって柱・サブ柱の施工を行なってください。
- 柱・サブ柱の取付けは「Gフレーム取付説明書(E248)」を参照してください。
- ※1のファンクション柱の取付けは「Gフレーム ファンクション柱取付説明書(A451)」を参照してください。
- H35柱へのGスクリーン取付けの場合、高さH2905以上への取付けはできません。

## 3. 基礎の施工

※ルーフ取付けの場合は表3-1に+100mm加算してください。

※柱に門扉を吊る場合は表3-1に+100mm加算してください。

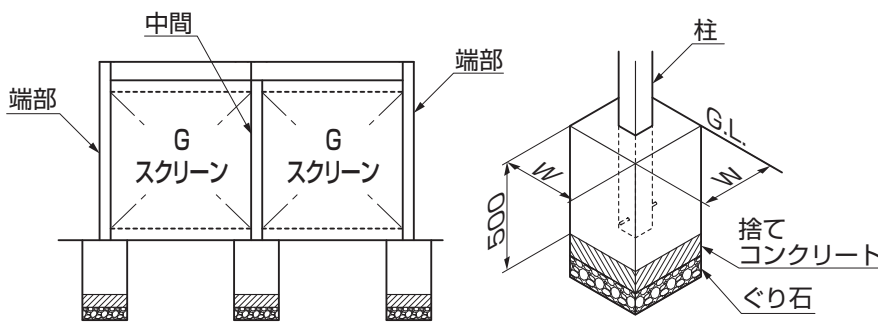


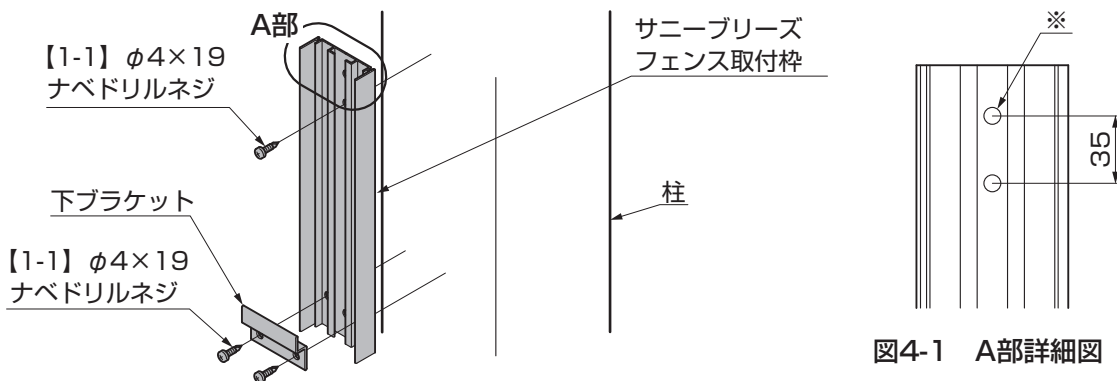
表3-1 基礎寸法表

W寸法	H24		H29	
	端部	中間	端部	中間
T8、T10、T12	400	550	400	650
T16、T18		600	450	700
W寸法	H35			
	端部	中間		
T8、T10、T12	450	700		
T16、T18	500	750		

### ポイント

- 基礎寸法は、90角柱と150角柱で共通になります。
- 躯体接続の場合は中間の基礎への荷重が軽減されるため、端部の基礎寸法へ変更することができます。

## 4. 枠の取付け



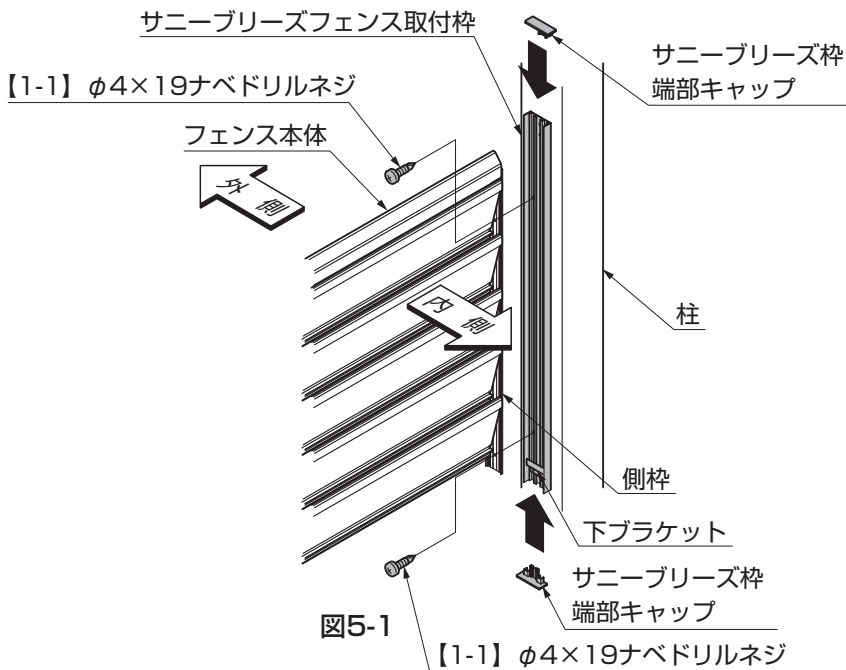
- ①サニブリーズフェンス取付枠を【1-1】で柱に取付けてください。
- ②枠の垂直を確認して、下ブラケット・サニブリーズフェンス取付枠を【1-1】で柱に取付けてください。

### 補足

- サニブリーズフェンス取付枠の※部分にネジを止め付けしないでください。キャップの取付けに使用します。

## 5. フェンス本体の取付け

### 5-1 1段仕様の場合 (T-8・T-10・T-12)

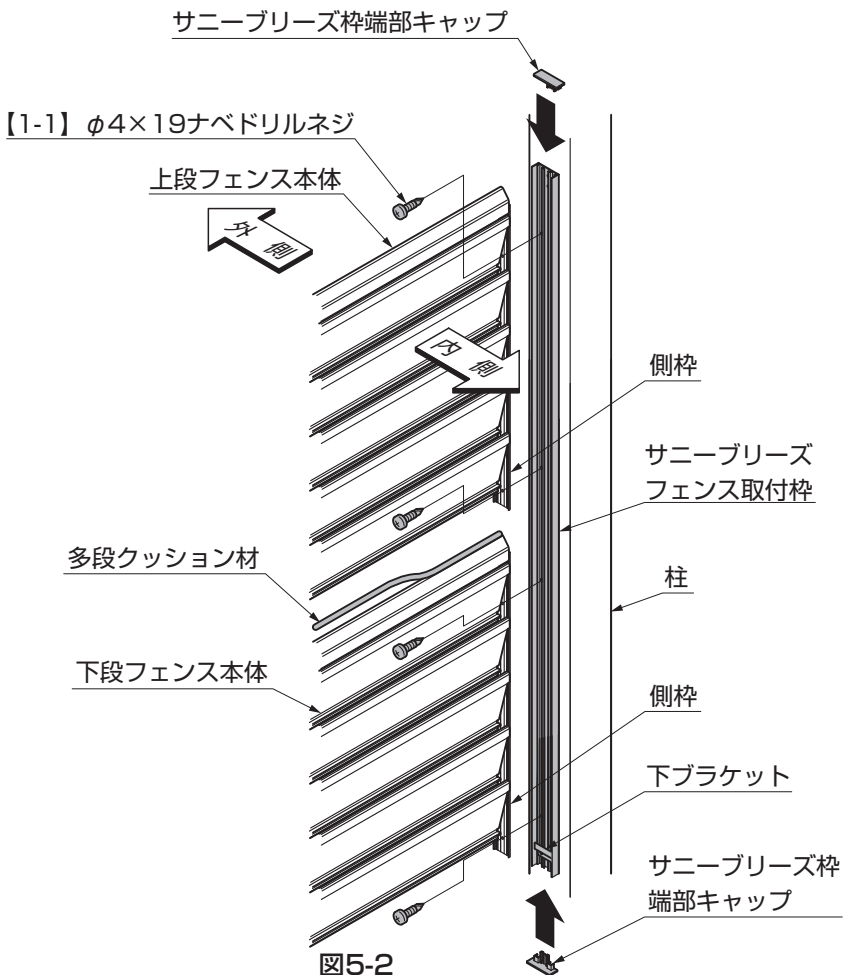


- ①側枠を下ブラケットに差込んでください。
- ②フェンス本体を【1-1】で柱に取付けてください。
- ③サニーブリーズフェンス取付枠にサニーブリーズ枠端部キャップを差込み取付けてください。

#### ポイント

- 目隠しや通気方向を変えたい場合には、フェンス本体の表裏を逆にして取付けることも可能です。取付方法は本説明と同様です。

### 5-2 2段仕様の場合 (T-16・T-18)



## 5. つづき

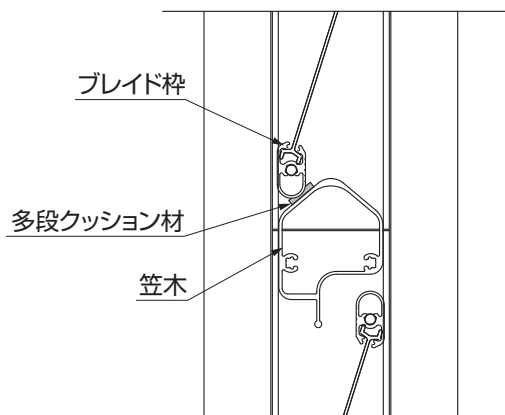


図5-3 S型・M型

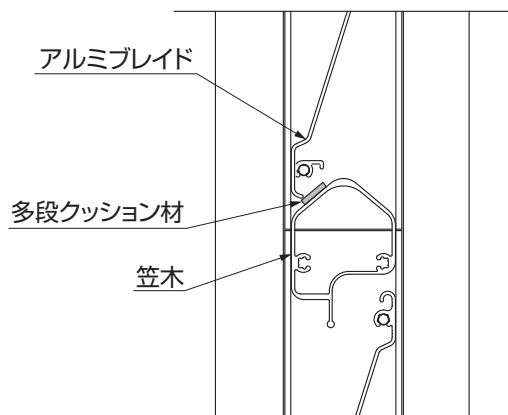


図5-4 A型

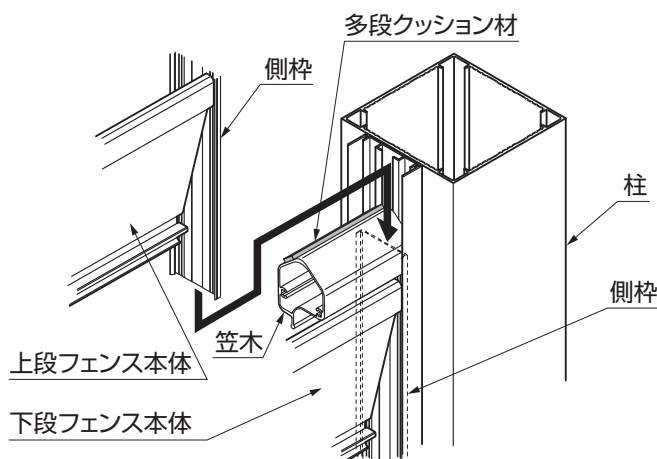


図5-5

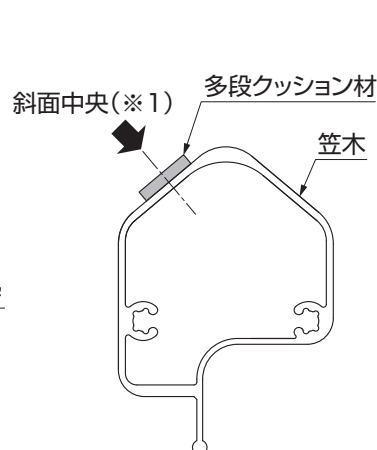


図5-6

- ①側枠を下ブラケットに差込んでください。
- ②下段フェンス本体を【1-1】で柱に取付けてください。
- ③多段クッション材を図5-6 (図5-3、図5-4) のように笠木の斜面中央(※1)に貼付けてください。
- ④上段フェンス本体を下段フェンス本体の上に取り付けてください。

### ポイント

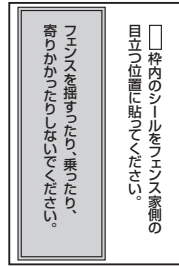
- 多段クッション材を斜面の端に貼付けたり、曲がって貼付けると意匠や機能上に不具合が生じます。中央部をまっすぐに貼付けるようにしてください。(※1)(図5-6参照)
- 上段フェンス本体の側枠を下段フェンス本体の笠木と柱のすき間に差込んでください。(図5-5参照)

- ⑤上段フェンス本体を【1-1】で柱に固定してください。
- ⑥サニーブリーズフェンス取付枠にサニーブリーズ枠端部キャップを差込み取付けてください。

### ポイント

- 目隠しや通気方向を変えたい場合には、フェンス本体の表裏を逆にして取付けることも可能です。取付方法は本説明と同様です。

## 6. 注意シールの貼付け



- ①必ず注意シールをフェンス本体または柱家側の目立つ位置に貼ってください。

### 注意

- 注意シールは施主様に安全に使用していただくために必要です。

## 7. フェンス本体の切詰め

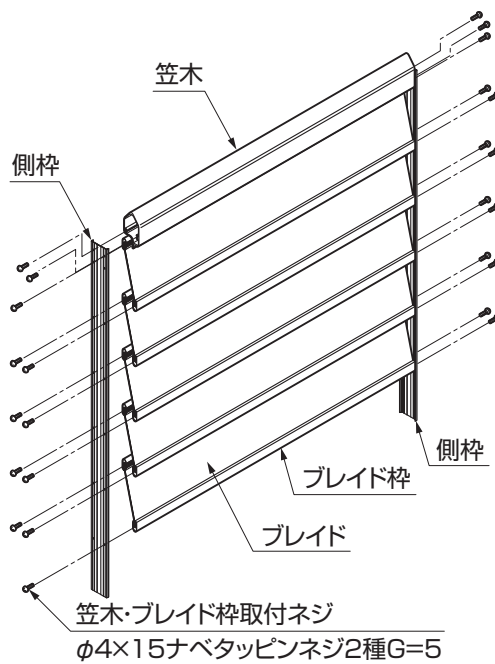


図7-1 S型,M型

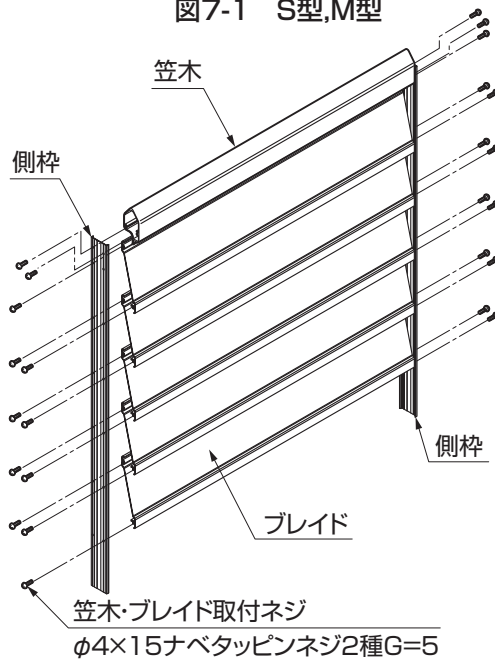


図7-2 A型

- ①「笠木・ブレイド柵取付ネジ」を外し、各部材を取外してください。  
(図7-1、図7-2参照)

### ポイント

- 外したネジは再利用するため、捨てないでください。

## 7.(つづき)



図7-3 S型の場合

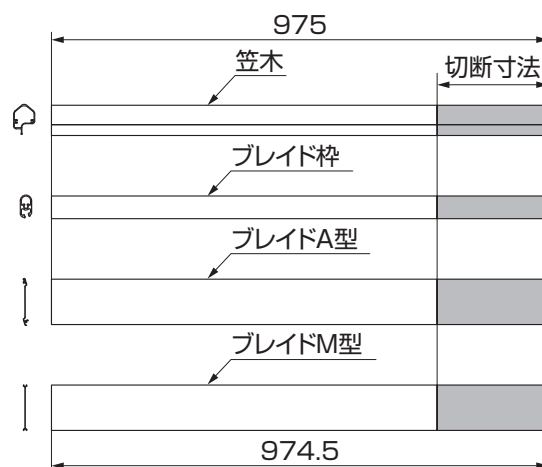


図7-4 A型・M型の場合

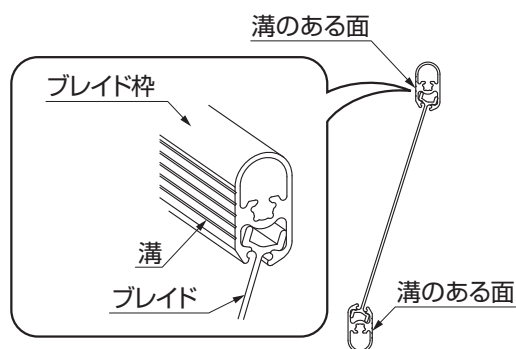


図7-5 ブレイドの挿入

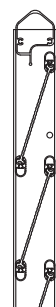


図7-6 S型・M型

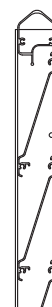


図7-7 A型

### ⚠ 注意

- ケガ防止のため、切断面はヤスリ等でバリ取りを行ない、鋭利な角部は丸めてください。

- ②笠木・ブレイド枠・ブレイドをノコギリを使い切断してください。(図7-3、図7-4参照)

### 🔑 ポイント

- 樹脂ブレイドは気温の変化で伸縮し易いため必ず笠木・ブレイド枠より4mm短くしてください。(※1)
- 樹脂ブレイドの切断に電動ノコギリを使用すると、割れるおそれがありますので注意してください。

- ③S型・M型の場合は、図7-5のようにブレイドをブレイド枠に挿入してください。

- ④ブレイドや笠木を図7-6・図7-7のように配列し「笠木・ブレイド枠取付ネジ」で取付けてください。(図7-1、図7-2参照)

取説コード

**C382**

JZZ616367E  
200804A\_1039  
202101F\_1049